

## 沖縄・宮古島の 2 隻の新造客船 —フェリーたらまⅢ&ウカンかりゆし—

2022-4-15 池田良穂

世界の艦船の 5 月号の新造船紹介に宮古島と多良間島を結ぶ航路に、去る 1 月に新造カーフェリー「フェリーたらまⅢ」が就航したとのニュースがでていました。1 隻の新造船を見に行くのに宮古島はいささか遠いというのが本当のところでした。宮古島の周辺離島はほとんどが橋で結ばれており、残る定期船航路は他に大神島だけで、ここに就航する「スマヌかりゆす」は今どうなっているかとインターネットで調べてみると、船名が「ウカンかりゆす」に変わっていました。前船の「スマヌかりゆす」の建造所である瀬戸内クラフトのホームページには、この 3 月に「ウカンかりゆす」を宮古島市に引き渡したとありました。運航するのは大神海運であり、船は公的に建造して、運航は民間が行う上下分割式での運航だと分かりました。

宮古島の 2 隻の定期客船が両方ともに代替したのであればと、宮古島に出かけることとしました。関西空港からは直行便があるので 2 時間半ほどで到着できます。宮古島の天気予報をみて、比較的天気のよさそうな日程で 2 泊 3 日での撮影旅行を決定することにしました。しかし、予約直後に、南太平洋では台風 1 号が発生したとの情報に接して出発当日までははらしましましたが、幸いなことに進路が東に大きく外れて宮古島への影響はありませんでした。

多良間海運の「フェリーたらまⅢ」は宮古島の平良(ひらら)港から 1 日 1 便就航していますが、コロナ禍による人流抑制もあって、月・水・金の週 3 便に減便されていました。平良港の発着場所も、以前の岸壁から旅客船ターミナル前の新しい岸壁に変わっており、宿泊したホテルのベランダからよく見える場所でした。多良間島までは片道 2 時間の航海で、朝 9 時に平良港を出港して、午後の 3 時に戻って来ます。同船の最高の撮影ポイントは伊良部大橋の上です。伊良部大橋はサンゴ礁の上に建設された長さ 6.5km の長い橋(取付道路を含む)で、船が通れるように中央部が高くなっていて、その下を「フェリーたらまⅢ」は通過します。当日の同船出港時には、生憎、雲が広がって雨がばらつく状況になりましたが、同船の通過時には雨もあがりなんとかよい写真が撮影できました。

もう一隻の「ウカンかりゆす」が通う大神島は、宮古島北部の池間島の東海上に浮かぶ小さな島で、定期船は島尻漁港から 1 日 4 便運航されています。島の住民はわずか 21 名なので、1 日 4 便も必要なのかと疑問に思っていましたが、この島へ訪れる人の数は年間 3 万人を超えるとのこと。同島はパワースポットしても有名で、もともと訪れる人も多い島でしたが、最近はシュノーケルなどを楽しむ若い人も増えているのが増加の理由のようです。島には大きな宿はなく、1 日 4 便という多頻度運航と、15 分という航海時間の短さで、日帰り観光客が多いのだといいます。この大神島について調べた貴重な論文を見つけたので

添付しておきますのでご覧ください。



関西空港からの飛行機は、宮古島の北部の池間島上空を通過して着陸しました。池間島は宮古島と長い橋で結ばれています。



平良港には多良間海運の前船「フェリーたらまゆう」が係船されていました。



平良港で停泊する新造船「フェリーたらまⅢ」です。



「フェリーたらまⅢ」のバルバスバウ



停泊する「フェリーたらまⅢ」の姿を対岸から撮影しました。



宮古島と伊良部島を結ぶ伊良部大橋。中央が船舶通過のために高くなっています。



伊良部大橋の上で通過する「フェリーたらまⅢ」の通過を待つと、平良港を出港した同船が近づいてきました。





多良間島に向かう「フェリーたらまⅢ」の雄姿です。



大神海運の新造旅客船「ウカンかりゆす」。宮古島の島尻漁港と大神島を1日4便、約15分で結んでいます。島民12名という消滅村落ともみられる同島に、年間3万人以上の旅客を運んでいます。





平良港起点のレストラン船「モンブラン」。船底に海中を眺められるガラス窓があります。



宮古島南部のシガラリゾートの博愛漁港を起点とするグラスボート「シースカイ博愛」です。当日は台風からのうねりの影響で欠航でした。



伊良部島の青の洞窟観光用のグラスボートです。

最後に宮古島で出会った海上保安庁の巡視船艇を紹介します。石垣島と同様に、国境の島で尖閣諸島にも近いので 11 隻の巡視船艇の配置が配置されています。このうち 8 隻と出会うことができました。



平良港に停泊する巡視船 PM35「はりみず」



平良港内を走行する巡視船 PS37「ひさまつ」



平良港に停泊する 2 隻の巡視艇 PC113「なつづき」(左)と PS35「ともり」



伊良部島の長山港に停泊する 4 隻の巡視船群。右から左に PS36 とぐち、PS38 ながやま、PS32 くりま、PS33 おがみ。